

第8回 100周年実行委員会 議事録

日時:2022年4月22日(金) 19:00~20:20

場所:清流会館

司会:黒田(37)

書記:得田(48)

出席:大庫、榊田、長田、岡山、黒田、島崎、大野、計倉、坂田、丸山、藤本、三井、大窪、大西、岩坂、小牧、岡田、加古、上村、菊川、吉川、宮宅、山本、奥、岩下、井上、得田、宮崎、松下、岸本、小林、眞家

○会長挨拶(大庫):50周年当時の記念誌をお借りしました
新しい事務局長の紹介(上村さん)

○前回のふりかえり

- ① 発起人リスト作成と依頼(P.2~3)
- ② 趣意書にできるだけ多くの発起人をつらねる(P.11)
- ③ PTA 積立金の100周年記念事業への使用と周知の為のチラシ1,000部作成

○報告事項

① 進捗等報告

財務部会

振り込み口座の作成:ゆうちょ銀行

記念会館の事務手続きを学校から県に提出

設計事務所の契約

建物使用協議

寄付依頼名簿の作成と依頼文 → のちに税務署に提出する

寄付受領証の作成

祝賀会部会(P.5)

記念品の検討(記念ロゴのデザインは生徒に募集をかけて、9月以降に決定する)

2023年から記念品の販売を予定

記念品は販売用と配布用を予定(配布用・販売用の商品を複数検討中)

日程は2024年10月26日(土) 場所は加古川プラザホテル 会費を¥10,000で検討している

記念アトラクションの依頼を1年半前から依頼をする(64回生のLINO LEIAさんはどうだろうか?)

次回の部会は6月を予定

式典部会(P.6~7)

校内委員の交代はなし 新1年生のPTA役員を追加

式典運営は学校主体で進めることになるが、PTAや清流会・青松会と連携することを確認

他校の式典資料も参考にしながら運営する

年次幹事の活用について(P.7参照) 各年度によって活動頻度や活動内容に温度差がある

活発に活動できるように各幹事と相談しながら進める

○議事

① 趣意書案の検討(P.10~12)

発起人の肩書きをどのように記載するのか?

有志の方の肩書き記載のルールを決める必要がある

印刷の都合により、本日決定したい → 回生は統一できるが、肩書きの記載は困難である

肩書きは掲載せずに、回生のみ記載する

いつの時点での情報かを明記する必要あり(特にPTA役員の入替えなど)

② 事業予定と収支計画の検討(P.13)

支出予定:設計契約の支払い(費用の30%)

詳細設計の支払い(費用の40%)

会館建築の契約(費用の40%)

土地代の支払い

事務局から学校への支援金・諸費

会館建築の残り費用

記念 DVD の作成

収入予定:2022 年中に 6,400 万円・9,000 万円・9,000 万円 →24,400 万円

2023 年中に 100 万円・800 万円・2,000 万円・2,000 万円 → 4,900 万円

2024 年中に 800 万円・100 万円 → 900 万円

PTA 積立:現時点で 770 万円 →総会で了承後速やかに清流会へ送金する

※ゆうちょ口座は税控除を対象とする寄付金のみ、と小牧さんから税務署に確認。PTA からは周年記念
事業口座に振込み願う

各部会の責任者は、詳細の見積りができ次第報告すること

会誌の発送費用は一般会計であるので、特別会計から除外する

税務報告の関係上、1年間で寄付金を集めきることが必要である(単年度会計で進める)

寄付の進捗によっては、設計の見直し等も行わなければならない

③ 寄付者リストの作成(P.14)

寄付者リストを更新していくため、寄付者の詳細・金額の了承が得られたら報告をお願いします

大口寄付だけではなく、草の根で寄付の呼びかけを進める必要がある

年次幹事の中心的な人物を軸に寄付リストを埋めていく

○その他

① 令和4年度オール役員会の開催について

2022 年7月7日(木)19:00～ 清流会館で実施する(今年度は対面で実施)

70～80 人の参加が見込まれるため、加古川商工会議所で開催

各支部(評議員)ともオンラインで開催することを検討する

② 令和4年度総会について

2022 年8月7日(日)11:00～ 加古川プラザホテル2階

対面開催で実施予定

9:00 から評議員会も例年通り開催

次回の実行委員会 5月20日(金)19:00～ 清流会館

20:20 に閉会

議事録署名:

三井尊文